

E 04021P13
P14

DEPARTMENT OF PHYSICS
OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY.

DATE _____

NO. 1

日本物理学会年会, 京都府立大学
講演. 湯川.

U-粒子の理論について. ^{湯川}

昭和十三年四月四日, 東京帝大理論物理学部にて.

1. 湯川, 坂田, 武蔵; U-粒子の場方程式の一次化,
2. " " ; 電磁場の相互作用と磁気能率.
3. " " ; 高速のU-粒子の質量, 湯川の質量の損失.

私共が1934年の秋に湯川君の会談を以て著した論文, 先づから昨年の末に第二の論文を著したのを引續き, 大阪帝大の会談既に済んだ後にもあり得る, この節で改めてそのお話を述べたいと思ふ. 同様の色々のお話をその方面の重り材として, 東京帝大で要約を述べたことと同様にしてそのお話を, 東京の方面の御好意で, この節でそのお話を述べたい, お話させて頂く機会が有りました, 私共深く感謝致して居る次第であります.

最初の私共の理論の発展の経路を簡単に述べたいと, 1932年の中核の著述を以て, Heisenberg その他の人々か, 原子核の中心と陽子とから成るといふ. ^{湯川} 湯川君の著述を以て, 湯川君 Heisenberg の所謂 exchange の force の仮説を引入した, 湯川君の著述は陽子と電子とから成り, この電子を取除くことによりて中核と陽子の相互作用が起り, 中核の陽子の中心の電子を中核の現象の ρ 荷電と為すとした. この論文が著して間もなく, 私共の電子核の中核, 湯川君の力の場の理論の ρ 荷電と陽子の中心の電子とを以て ρ 荷電と為す (湯川君の著述) の著述を著した. (昭和十三年, 1933年) 湯川君の理論